

## 【留学に向けた準備】

### 1. 奨学金獲得のための準備

今回の留学では、官民協働の海外留学支援制度トビタテ留学 JAPAN プログラムを利用することで渡航費、生活費など必要な経費のほとんど全てを奨学金でカバーすることができました。トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラムとは以下のような制度になります。

「トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム」は、2014 年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020 年までの 7 年間で約 1 万人の高校生、大学生をプログラムの派遣留学生として送り出す計画で、派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し”産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”へと育成されます。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています（引用：<http://www.tobitate.mext.go.jp/>）。

より詳しく知りたい方は、大学の国際交流センターに事前に連絡をして、直接話を聞くのが一番良いと思います。トビタテは支給額が高く、なおかつ返済不要であるため、審査に合格して利用することができればとても助かる制度です。しかし、そのためには事前に準備しないといけないことも多く、大学を通じて用意しないといけない資料もあります。最低でも留学を開始したいと思っている半年前には準備をしていないと間に合わないと思います。審査に合格することができれば、様々な領域でトビタテを利用した留学生とのコミュニティに参加することができ、そこでは活発な情報・意見交換がされており、留学後もメリットのある制度です。

### 2. 英語の勉強

英語に関しては大学 2 年の頃から英語を使った活動をしてきており、それまでに日常的にオンライン英会話などを利用して英語を勉強していました。直前には大学院のために必要だったので留学の準備と兼ねて TOEIC の勉強をしました。英語の勉強に関しては、それなりに勉強を積み上げないと、なかなかできるようにはならないので、初めのうちは本当に苦痛だと思います。いかに勉強の序盤で英語の魅力に気付けるかが大切だと思っています。私の場合は、大学一年の頃に、海外で初めて英語を使った経験が本当に楽しくて、なおかつ上手に話せなかったことが悔しかったため、それから勉強をするようになりました。

英語が少しずつできるようになると、洋楽に興味が出てきたり、海外旅行に行くのに抵抗が無くなったり、徐々に英語のすごさに気付けるようになりました。最初は楽しくはなく、英語ができるようになるイメージも湧きませんでしたが、正しい方法で継続すれば着実に成果が出てきてそこからは楽しくなるので、それまで頑張れたのが良かったと思います。

### 3. 留学機関への連絡

留学機関に関しては、デンマークに留学経験のあった国際交流センターの先生に相談のってもらいました。何もわからない状態から留学機関へのアポを取ることは当時の私にはとてもハードルが高く、一人では成し得なかったと思います。ネットで調べてもある程度の情報を得ることができると思いますが、私のおすすめは、実際に留学経験のある人とまずはアポを取って話を聞き、イメージをすこしでも固めることがいいかと思います。1つ現地の機関とコンタクトが取れると、そこを經由して他の機関の情報を入手できる可能性が高くなると思います。